

第 6 回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日 時	令和元年 9 月 19 日 (木) 19:00~20:15	
場 所	高松市医師会館 2 階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 松本部長 ■ 岡委員 ■ 片山委員 ■ 林委員 ■ 香西委員 □ 田中委員 ■ 辻委員 ■ 永岡委員 ■ 坂東委員 ■ 古川委員 □ 三宅委員 ■ 和田委員	11 名
事務局	高松市医師会 伊藤副会長、山地氏、真鍋氏 地域包括支援センター 坂上副センター長 長寿福祉課 徳重主幹、長樂係長、山崎	7 名
議 題	1 第 2 回 医療介護連携ミーティングの開催について 2 入退院情報共有シートに記載する個人情報の取り扱いについて 3 第 7 回退院支援・医療介護連携部会日程について	
結 果	<p>1 第 2 回 医療介護連携ミーティングの開催について</p> <p>目的 高松市入退院支援ルール（試案）の周知・試用開始準備</p> <p>日時 令和元年 11 月 2 日（土）14:00~17:00（受付 13:30~）</p> <p>開催場所 穴吹リハビリテーションカレッジ 4 階シルクホール</p> <p>対象者 第 1 回医療介護連携ミーティングの参加者と同様</p> <p>参加募集 10 月~</p> <p>プログラム これまでの意見を反映した冊子を作成し・提示し、グループワーク等で検討しながら集約化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員それぞれが試行的にシートを使用してみる。 ・前回のミーティングで出た意見を開示する。 <p>委員からのご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西讃の方はシームレス研修会のシートを使用しているところが多いというのは聞いたことがある。 ・坂出市では、OT が中心になって医療介護連携のリハ職用シートを作成中。 ・機能強化連携体制構築に向けた薬-薬連携のモデル事業を高松赤十字病院と薬局で開始している。こちらの情報も提供しながら並行して実施する予定で、県の薬剤師会からも承認を得ている。 ・看護は特に統一したものはない。柏市では、紙でやりとりしていた時は普及率が低かったが、行政で作ったクラウドを利用し始めてから上昇したと聞いた。 ・市の老施協の集まりで説明をしたが、まだピンと来ていないのが現状。フェイスシートの利用できると、救急搬送の時等で利用できることを話した。 ・松山の入退院支援ルールを見てもわかるように、医療構想地域毎に作成されている。香川では、最低でも西と東でできないといけないと思う。高松市が東部 	

構想区域のモデル的なものを作成し、広域に広まるよう働きかける必要があると思う。各職域で全県下の広がるようなルール等既に決まっているものがあれば早いうちに教えてほしい。

2 入退院情報共有シートに記載する個人情報の取り扱いについて

委員からのご意見

- ・病院では、患者情報を FAX でやりとりすることも多い。名前等を黒塗りする病院もあるが、特に消さずにそのまま FAX する病院もあり、それぞれの施設の判断に委ねられている。
- ・患者情報のやりとりなしで転院を受け入れるのは、受け入れる方にとっては難しい。
- ・他の自治体はどのように対応しているのか。
- ・やりとりした個人情報の扱い方や廃棄方法はどのようにしているのか。
- ・柏市の例もあるので、早めに IT 化をするのが好ましい。
- ・警察からも FAX で個人情報が送られてくる。まずテスト送信があって、その後電話で確認があり、リダイヤルによって FAX が来る流れ。

高松市の状況

- ・市側から FAX やメールを送ることはほぼない。
- ・地域包括支援センターは事業所でありながら高松市の施設であるので、コンプライアンスの問題からいうと、FAX を活用するのは難しい状況。
- ・みんなの病院では、FAX のやりとりはしている。FAX 番号を二人でチェックして、2 回ダイヤルを押さないと送信できないシステムを入れている。間違えて送付した場合は、手渡しで受け取らせていただいて処理している。

3 第 7 回退院支援・医療介護連携部会日程について

日時：10月17日（木） 19：00～20：00

場所：高松市医師会

内容：第 2 回医療介護連携ミーティングの内容検討

- 入退院支援シートを委員に送付し、テスト実施した感想を 10 月 11 日（金）までに事務局にメールいただく。
- 高松市の対応について、次回の部会までに検討しておく。